

全国での活躍を誓う石川さん(前列左)と古賀さん(前列右)



全 日本中学校陸上大会へ出場 三橋中の石川さんと古賀さんが報告

8月6日、全日本中学校陸上競技選手権大会400mに出場する三橋中学校3年の石川想藍さんと同100mに出場する同校3年の古賀成道さんが、橋本教育長へ出場を報告しました。7月に開催された県中学校陸上競技大会で全国標準記録を突破した2人。石川さんは「全国で決勝の舞台に残りたい」、古賀さんは「全国の選手と競り合って楽しく走りたい」と抱負を語りました。また、同校は7月の県大会で学校・チーム対抗総合優勝を達成。同校初の快挙となりました。

伝統の長半纏ながはんてんを着て発表する両開小学校の児童



発 見と挑戦のプレゼンショー 市内小学校の児童がふるさと学習の成果を発表

9月6日、「キッズパワー全開！発見と挑戦のプレゼンショー～発信！ふるさとと柳川の魅力～」が市民文化会館で開催されました。発表する児童や保護者など374人が来場。市内小学校14校から各代表1グループずつが登壇し、地域の魅力などをテーマに、自分たちで調べて、体験し、考えたことを発表しました。発表した両開小学校の児童は「学習を通して地域の魅力を再発見できた。ふるさとの大切さや地域の魅力をどのように話したら伝わるか、考えるのが楽しかった」と話しました。



【上】カヌーで大きなお堀の真ん中まで行ってみた親子
【下】たくさんの参加者によって完成した組子



身近な話題などお知らせください。情報をお待ちしています。
【問】市企画課広報広聴係 ☎0944・77・8425

水 辺のまちの新しい楽しみ方 「スイ！水！すい！」水まつりを開催

8月31日、水郷柳川水まつり2025「スイ！水！すい！」の第2部がからたち文人の足湯公園で開催されました。「水辺は遊び場 水辺のまちの新しい楽しみ方」がテーマの同イベント。8月3日の第1部でも行ったサップとソーラーボート体験に加え、カヌーや船頭体験などを行いました。カヌーを体験した親子は「水が冷たくて気持ち良い」「子どもと体験できて良い思い出になった」と楽しそうに話してくれました。水辺の体験の他にも、どんこ舟をこいでタイムを競う掘割エイトや、細い木材を組み合わせる組子、鵜飼いのショーなどが行われ、会場は大いににぎわいました。

元気いっぱい防火を誓う幼児たち



子 どもも大人もみんな防災 第36回市幼年消防大会開催

9月3日、市幼年消防大会が市民文化会館で開催されました。消防職員と幼児たちのふれあいの中で幼少期における防火の意識を養うことを目的とした取り組み。市内21の幼年消防クラブから414人が参加しました。実際の火災の映像を見たり、〇×クイズをしたりして、火災の恐ろしさを学びました。最後には、全員で元気よく「防火のちかい」を宣言しました。いきいき保育園の八木瑚都子ちゃん(6歳)は「帰ったらコンセントのほころぎがないかチェックする」と学んだことをすぐに実践してくれる意気込みを話してくれました。

認定を報告した梅崎さん(中央)と千倉さん(右)さん



紙 ヒコーキに思いをのせて こども指導員に梅崎さんと千倉さんが認定

昭代中学校1年の梅崎瑛登さんと三橋中学校1年の千倉大史さんが県青少年育成県民会議から折り紙ヒコーキこども指導員(B級)の認定を受けました。昨年12月の県大会に出場し好成績を残した2人。認定試験に見事合格し、南筑後地域初のこども指導員が誕生しました。8月20日、橋本教育長へ報告に訪れた梅崎さんは「心を込めて折った紙ヒコーキが遠くまで飛ぶのが楽しい」、千倉さんは「長い時間飛ばせる折り方のコツを教えます」と認定を喜びました。

9月1日に松永市長へ受賞を報告した石橋さん(左)



仲間とのつながりと柳川愛の成果 県ビジネスプランコンテストで76人の頂点に

榎石橋鉄工所の石橋香織さん(46歳、明野)が、福岡よかとこビジネスプランコンテスト2025の大賞を受賞しました。地域の魅力や強みを生かし、地域課題を解決するプランを競うコンテスト。石橋さんは夫が経営する鉄工所の技術を生かして柳川まりをモチーフとしたペビーカステラの金型の製作を計画しました。これをきっかけに地元素材の使用や地元企業、商店街との連携などで地域の活性化を考えます。石橋さんは「今回のプランが大好きな柳川を盛り上げるきっかけになれば」と話しました。

2人で大きいブドウみつけたよ



自然の恵みに感謝 柳川観光ぶどう園収穫体験

8月11日から17日にかけて橋本町の「柳川観光ぶどう園」で収穫体験が行われました。同園がある両開地区は干拓地であり、有明海に面しているため、土壌に塩分が多く、太陽と潮風も浴びて甘いブドウが育ちます。今年も糖度が高いもので22度の甘いブドウが実りました。大木町から家族で参加した小学1年の宮崎颯斗君(6歳)は「前の日の夜から楽しみにしていた。お姉ちゃんや家族みんなで大ブドウが採れて良かった。また来たい」と笑顔で話してくれました。